

「年越し支援・コロナ被害相談村」

実行委が取り組み発表

「年越し支援・コロナ被害相談村」実行委



員会は17日、厚労省で会見し、年末年始の生活困窮者支援の取り組みについて発表しました。

鈴木剛全国ユニオン会長は、「私たちは連合加盟だが、全労連、全労協の幅広い労働組

年越し支援・コロナ被害相談村の実施を発表する人たち17日、厚労省内

合と市民団体が協力して取り組む」と発言しました。

黒澤幸一全労連事務局長は、「自己責任やコロナ禍だから仕方ないと思わないよう、問題を可視化したい」と指摘。本木寛東京全労協事務局長は、「労働組合として一人ひとりを支えたい」と述べました。

協力団体の支援活動も紹介しました。



半、9日午前10時～午後4時、新宿区立大久保公園

▽池袋・てのはし衣類・食糧支援など12月29日午後3時45分・衣類配布、5時・医療生活相談、6時・炊き出し、31日午後5時・医療生活相談、6時・炊き出し、1月2日午後5時・医療生活相談、6時・炊き出し、東池袋中央公園

▽女性による女性のための相談会12月25日午前11時～午後4時半、26日午前10時～午後4時、22年1月8日午前11時～午後4時

・聖イグナチオ教会